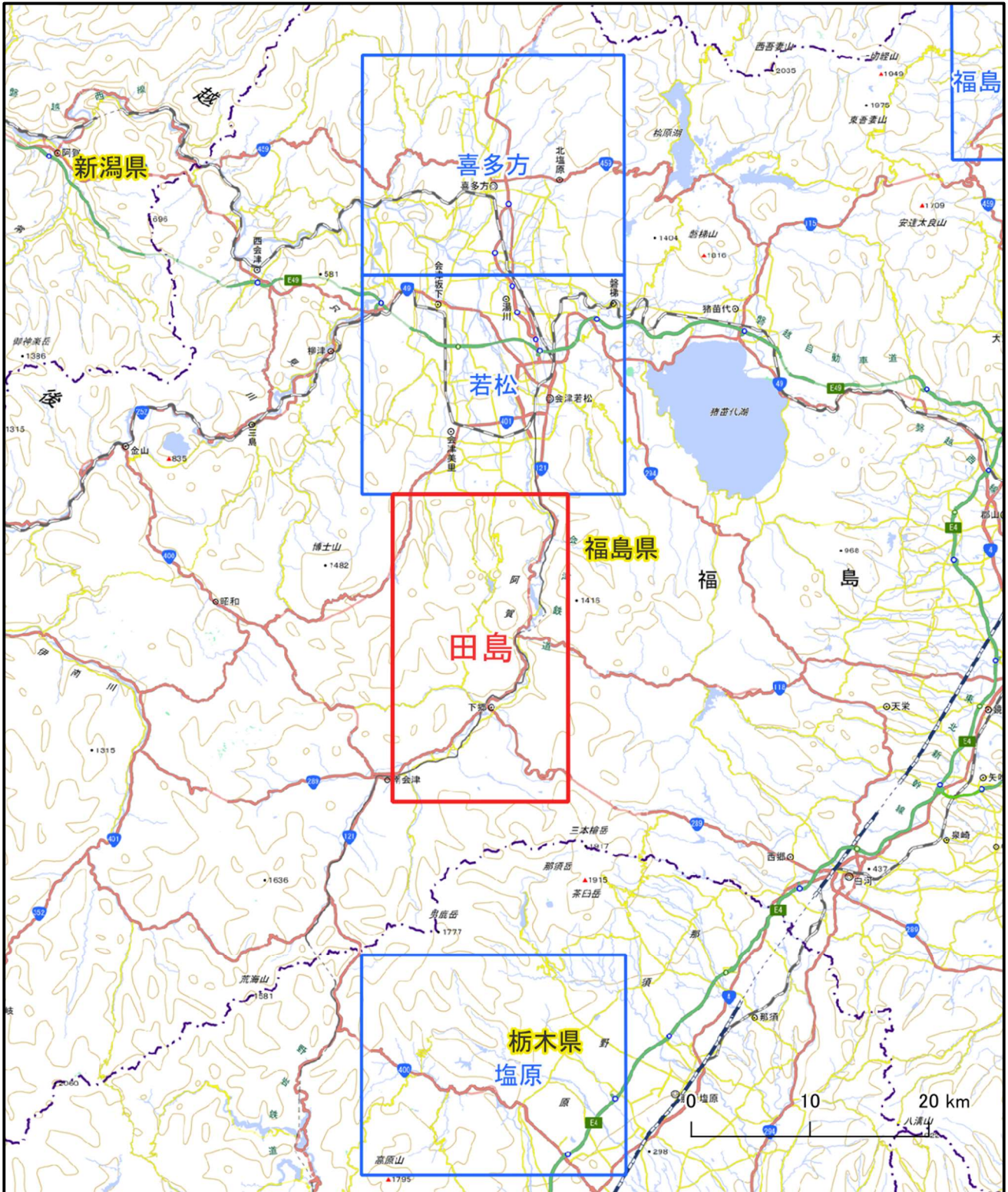


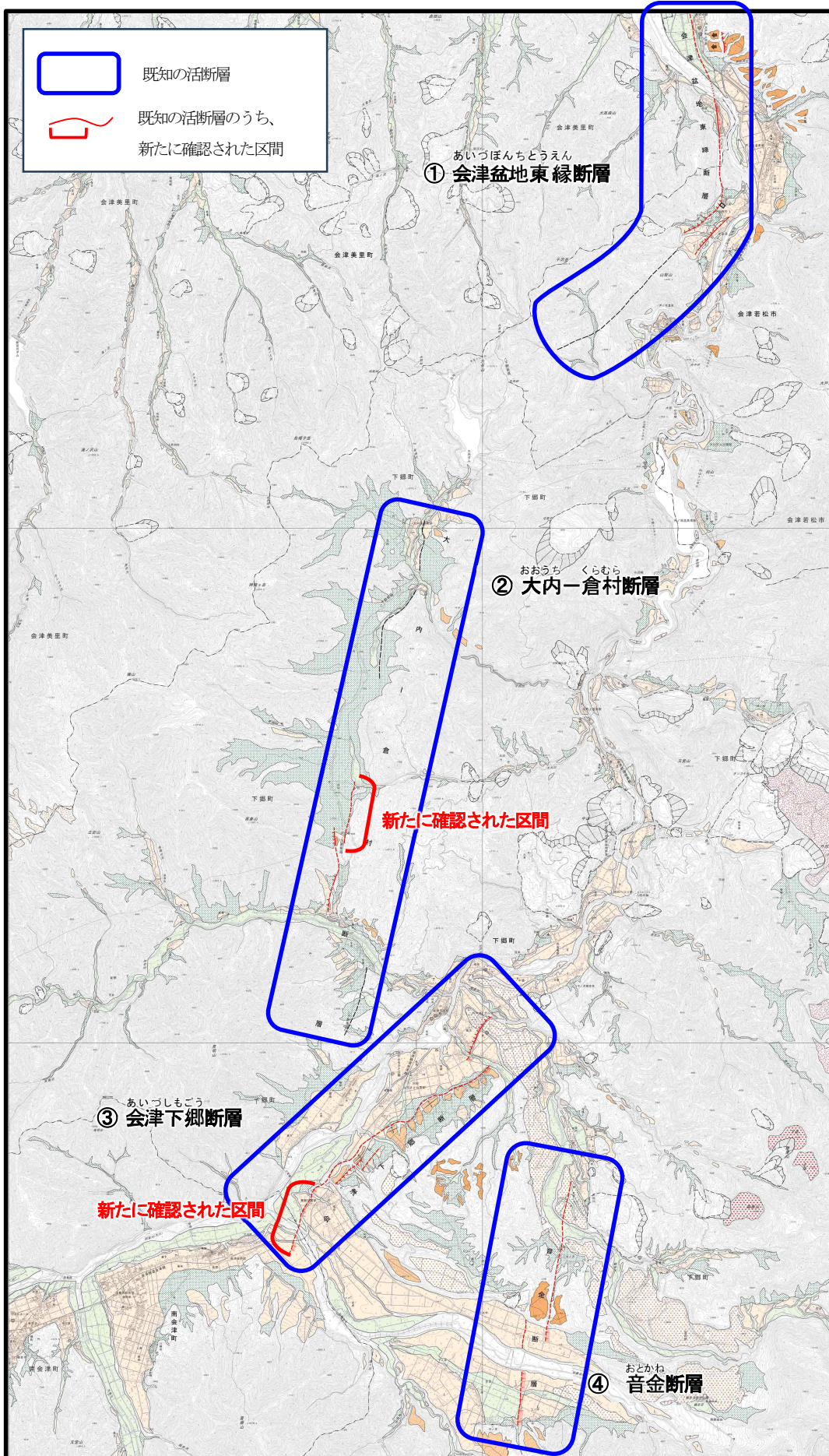
1:25,000 活断層図 会津盆地西縁・東縁断層帯とその周辺「田島」



新たな公開図郭 公開済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図 「田島」



2. 今回の調査で得られたこと

「田島」の図には、会津盆地東縁断層約7km、大内一倉村断層約9km、会津下郷断層約6km、音金断層約4kmを示しています。示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	会津盆地東縁断層	<p>会津盆地東縁断層は、「喜多方」図郭の北塩原村土合から会津若松市小谷西村付近を經由して大内峠の北東側まで、全体としてはほぼ南北方向に延びる活断層です。</p> <p>本図には隣接する「若松」図郭の会津若松市大戸町宮内付近から、阿賀野川を跨ぎ同市の山梨山北西側を經由して大内峠の北東側まで、北東－南西方向に延びる推定活断層を含む図内の長さ約7kmの区間が表示されており、縦ずれ※、活撓曲※、傾動（隆起により地表が傾く運動）を伴います。</p>
②	大内一倉村断層	<p>会津若松市と下郷町の境にある大内峠付近から小野岳西麓、同町中山付近を經由して同町の八幡峠付近まで、北北東－南南西方向に延びる推定活断層を含む長さ約9kmの活断層で、縦ずれ※を伴います。<u>今回の調査で下郷町桜山から下郷町中山峠付近までの区間を新たに活断層と確認しました。</u></p>
③	会津下郷断層	<p>下郷町塩生付近から南会津町の加藤谷川左岸まで、北東－南西方向に延びる長さ約6kmの活断層で、縦ずれ※、活撓曲※を伴います。<u>今回の調査で下郷町落合から加藤谷川左岸の区間を新たに活断層と確認しました。</u></p>
④	音金断層	<p>下郷町原から同町上ノ坪まで、ほぼ南北方向に延びる長さ約4kmの活断層で、一部に活撓曲※を伴います。</p>

※ 印は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照